

令和4年度 施策評価シート

基本目標		「すみだ」らしさの息づくまちをつくる
政策	120	すみだの多彩な魅力を内外に発信し、成熟した国際観光都市をつくる
施策	121	すみだの魅力を広く発信し、訪れたいまちをつくる
施策の目標	さまざまな媒体からすみだの魅力が発信され、これまで以上に国内外から多くの人が「国際観光都市すみだ」にあこがれ、訪れています。	

1 基本計画における成果指標の状況

指標名	墨田区観光協会のホームページ年間訪問者数									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	323,985				335,000					350,000
実績					197,991					
指標名	区内を訪れる観光客数（観光関連施設入込客数及びイベント入込客数）									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	9,097,423				9,800,000					10,000,000
実績					780,000					

2 目標と現状(実績)についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移（千円）	
年々、警備や交通整理対策が困難度を増し、それに伴い必要経費が増大している。また、企業協賛金も減少しているため、実施過程やコスト改善の工夫に継続して取り組んでいく必要がある。なお、令和2年度については事業が中止になったため総事業費が減少している。	R1	31,874
	R2	1,081
	R3	400

3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
B	例年90万人を超える観覧客があり、当区のシティプロモーションのために欠かせない事業となっている。

4 今後の施策の運営方針

評価結果	施策の戦略的方向性
	(1) 優先的に資源投入を図る。
	(2) 現状維持とする。
	(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
	(4) 資源投入の縮小を図る。
【上記の判断理由】	
日本有数の花火大会であり、墨田区の魅力を全国に発信する機会になるため。	
【今後の具体的な方針】	
警備、交通整理対策などの安全確保の方策と新型コロナウイルス対策、そしてより魅力的な花火大会の企画を、都・関係区、関係機関と調整、検討していく。	

5 この施策に係る事務事業（重要度・貢献度順）

番号	事務事業名	歳出 決算額 (千円)	人コスト (千円)	歳出 総額 (千円)	目的に対する指標	
					年度目標値	直近の評価内容
					年度実績値	評価結果
						評価対象年度
1	隅田川花火大会事業	400	21,066	21,466	950000	現状維持
					-	令和3年度
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

令和4年度 事務事業評価シート

施策	121	すみだの魅力を広く発信し、訪れたいまちをつくる	部内優先順位
事業名	隅田川花火大会事業		1
目的	伝統の両国川開き花火大会を継承する行事として、広く庶民に親しまれている花火大会を開催し、都区民に潤いと憩いの場を提供する。		主管課・係(担当)
			文化芸術振興課
			文化行事担当
対象者	都区民のほか国内外の来訪者		
根拠法令 関連計画	隅田川花火大会実行委員会会則		
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託
		人員体制・委託先	常勤職員4人(当番時)、3人(非当番時)
事業内容	<p>昭和53年に隅田川花火大会として復活した伝統の花火大会である。例年、東京都、墨田区、台東区、中央区、江東区、荒川区の五区で構成する連絡協議会と、各区町会長、関係事業者、行政職員で構成する実行委員会において、実施日や実施体制等を確認、決定しながら開催している。</p> <p>なお、町会関係者やボーイスカウト、都区職員による自主警備委員のほか、警視庁や東京消防庁など約10,000人の協力を得て、自主警備体制を整え、安全に万全を期している。</p>		
経過	開始年度	昭和53年度	終了予定
	昭和53年から開催し、以来、令和元年度まで42回実施している。令和2年度から令和4年度については、国が定める感染症の安全対策を取ることが困難であったため中止とした。		
議会質問の状況	<p>令和2年10月決算特別委員会 リニューアルした隅田公園周辺は混雑が予想されるが、どのような形での使用が予定されているのか。 (答弁): 新しく整備した隅田公園の広場に関しては協賛席という形で考えている。併せて、コミュニティ道路周辺の安全対策もミズマチとの連携というところも踏まえて、安全を確認しながら進めていく。</p>		
その他特記事項	<p>(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 2021年の開催予定日10月23日(土)中止 6月18日(金)に開催された実行委員会で中止を決定。 2022年の開催予定日7月30日(土)中止 4月8日(金)に開催された実行委員会で中止を決定。</p>		

予算・決算額推移(単位:千円)		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算現額(事業費)		31,025	29,025	31,885	1,081	401	46,748
A.決算額(令和4年度は見込み)		30,975	28,977	31,874	1,081	400	1,000
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		30,975	28,977	31,874	1,081	400	1,000
執行率(%)		99.8%	99.8%	100.0%	100.0%	99.8%	2.1%
B.人コスト		/	17718	26,214	21,088	21,066	/
総事業決算額(A+B)		30,975	46,695	58,088	22,169	21,466	/
予算書P(令和4年度)	P119 2-2	執行実績報告書P(令和3年度)		P53			

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和2年度（決算）			令和3年度（決算）			令和4年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
負担金補助及び交付金	補助金	1,081	負担金補助及び交付金	補助金	400	負担金補助及び交付金	補助金	45,308
報償費	ボランティア記念品代	0	報償費	ボランティア記念品代	0	報償費	ボランティア記念品代	15
管内旅費	当日従事者分旅費	0	管内旅費	当日従事者分旅費	0	管内旅費	当日従事者分旅費	20
委託料	会場整理委託	0	委託料	会場整理委託	0	委託料	会場整理委託	1,405

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	年1回の開催				単位	回数
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		1	R7	目標	1	1	1	1
				実績	1	1	1	1
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1	1	1	1	1	1
		実績	-	-	-			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	伝統の両国川開き花火大会を継承する行事として、広く庶民に親しまれている花火大会を毎年継続して開催することが必要であるため。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	来場者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		950000	R7	目標	950,000	950,000	950,000	950,000
				実績	957,000	748,000	874,000	959,000
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	950,000	950,000	950,000	950,000	950,000	950,000
	実績	-	-	-				
指標の選定理由及び目標値の理由								
伝統ある花火大会であり、東京の夏の風物詩として都内はもとより全国的に有名な大会として、今後も大勢の観客の来場が、地域経済活性化及び当区のシティプロモーションの指標となるため。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	日本有数の花火大会として成長し、都区民をはじめとする多くの方々に愛される事業として定着している。また、例年90万人を超える観覧客があることから、当区のシティプロモーションのためには欠かせない事業であり今後も開催に向けて準備を行う。

課題・問題点
年々、警備や交通整理対策が困難度を増し、それに伴い必要経費が増大している。また、企業協賛金も減少しているため、実施過程やコスト改善の工夫に継続して取り組んでいく必要がある。 この花火大会は毎年100万人近い観客を集める全国的にも有名な大規模イベントであることから、経済波及効果の面で、中止となった場合の影響が非常に大きいので、今後開催に向け国が求める安全基準を順守して、実施に向けた準備を進めていく。 また、3年連続の中止により、花火大会を経験していない職員が増えているので、マニュアル等を整備し、共有することで、今後の花火大会に備えていく。

補助金名	隅田川花火大会実行委員会補助金		主管課・係（担当）			
根拠法令	隅田川花火大会実行委員会会則		文化芸術振興課文化行事担当			
補助概要	隅田川花火大会実行委員会の運営経費について補助		03-5608-6180			
目的	伝統の両国川開き花火大会を継承する行事として、広く庶民に親しまれている花火大会を開催し、都区民に潤いと憩いの場を提供する。					
対象	隅田川花火大会実行委員会					
基準	区独自基準					
補助条件	隅田川花火大会実行委員会会則 第9条（経費） 実行委員会の経費は、分担金、寄付金及びその他の収入をもって充当する。					
経過	開始年度	昭和53年度	終了予定			
	昭和53年から開催し、以来、令和元年度まで42回実施している。令和2年度から令和4年度については、国が定める感染症の安全対策を取ることが困難であったため中止とした。					
議会質問の状況	令和2年10月決算特別委員会 リニューアルした隅田公園周辺は混雑が予想されるが、どのような形で使用が予定されているのか。 （答弁）：新しく整備した隅田公園の広場に関しては協賛席という形で考えている。併せて、コミュニティ道路周辺の安全対策もミスマチとの連携というところも踏まえて、安全を確認しながら進めていく。					
その他特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等） 2021年の開催予定日10月23日（土）中止 6月18日（金）に開催された実行委員会で中止を決定。 2022年の開催予定日7月30日（土）中止 4月8日（金）に開催された実行委員会で中止を決定。					

予算・決算額推移（千円）		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算額（事業費）		30,070	28,070	30,940	1,081	401	46,748
決算額（令和4年度は見込み）		30,070	28,070	30,940	1,081	400	1,000
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		30,070	28,070	30,940	1,081	400	1,000
執行率（％）		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	99.8%	2.1%

補助金の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	年1回の開催				単位	回数
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		1	R7	目標	1	1	1	1
				実績	1	1	1	1
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1	1	1	1	1	
		実績	-	-	-			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	伝統の両国川開き花火大会を継承する行事として、広く庶民に親しまれている花火大会を毎年継続して開催することが必要であるため。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	来場者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		950,000	R7	目標	950,000	950,000	950,000	950,000
				実績	957,000	748,000	874,000	959,000
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標		950,000	950,000	950,000	950,000	950,000	950,000	
実績		-	-	-				
指標の選定理由及び目標値の理由								
伝統ある花火大会であり、東京の夏の風物詩として都内はもとより全国的に有名な大会として、今後も大勢の観客の来場が、地域経済活性化及び当区のシティプロモーションの指標となるため。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	日本有数の花火大会として成長し、都区民をはじめとする多くの方々に愛される事業として定着している。また、例年90万人を超える観覧客があることから、当区のシティプロモーションのためには欠かせない事業である。

課題・問題点
<p>年々、警備や交通整理対策が困難度を増し、それに伴い必要経費が増大している。また、企業協賛金も減少しているため、実施過程やコスト改善の工夫に継続して取り組んでいく必要がある。</p> <p>この花火大会は毎年100万人近い観客を集める全国的にも有名な大規模イベントであることから、経済波及効果の面で、中止となった場合の影響が非常に大きいので、今後開催に向け国が求める安全基準を順守して、実施に向けた準備を進めていく。</p> <p>また、3年連続の中止により、花火大会を経験していない職員が増えているので、マニュアル等を整備し、共有することで、今後の花火大会に備えていく。</p>